



滝上町外国語指導助手

Jordy's コーナー

雪が降り始めました！滝上町に来て初めての雪です。テキサスではお正月でも泳ぐことができます！私は気温が10度くらいで寒いと感じるのでさすがに泳げません。

私は、雪のある冬を経験することが初めてなのでとても冬の生活に緊張しております。石油ストーブを使うことも、スコップを使うことも初めて。さらには、雪道の運転をしたことがないのです！しかし、雪が山や丘に積もっている景色はとてもきれいで大好きです。

そして、何より、スノーボードやスノーシューを経験することが楽しみです。最近、私は世界遺産の知床を見学してきました。峠は通行止めでしたが、知床五湖はとても綺麗で澄み切っていました。また、沢山の訪問客との会話も楽しめ、熊をみた！という訪問客もいました。

大自然に囲まれた滝上町と世界遺産の知床が私は大好きです！



こちらは3つ目の湖です！



大自然に感激しました！

馬鈴の音は種類によって違いますが馬によっても微妙に違ってました。馬の歩き癖によって違いが出るのでしよう。冬の朝暗いうちに家を出て夜が明けるところ山土場でバチに丸太を積んで街に向かって出発します。夕方街の土場に着いて丸太を降り一日の仕事が終わります。そして家路につくのですが、その前に「親方は沢口食堂で焼酎のモッキリ一杯、愛馬には栄養注射一本」これでその日の疲れを癒します。親方のモッキリは一杯では止まらず酔っ払ってしま



郷土館に展示される馬鈴



丸太を運ぶ親方と馬

(滝上町農業共済史参照)



おぐり アイ 小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介していただきます！

「馬鈴」

今は昔のことになりました。

昭和三十年頃、冬になると沢の道は山から市街に向かう丸太を積んだバチバチという櫓の列でいっぱいになりました。馬は体から湯気をあげ、一心に重いバチを曳きます。どの馬にも鈴が付けられていて澄んだ音を響かせています。

馬鈴は大まかに三種類です。「鐘」と言われるベル形「カランカラン」と鳴ります。次は「鳴り輪」ドーナツ形で外側に切れ目が入っています。「リンリン」と鳴ります。それから「鈴」小さな桃形の鈴を沢山並べたベルトを輪にします。「ジャンジャン」となります。

馬鈴は熊よけ、馬に勇みをつける、景気づけのためなどと言われていますが、一番はやはり熊よけではないでしょうか。真暗な夜道で馬が突然止まって

鼻息を荒げ一步も進まなくなってしまう。しばらくしてまた歩き出す。「きつと先の方に山親爺がいたんだべな」という話をよく聞かされたものでした。